



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



『一粒の米』のお話

校長 森田 芳栄

今日の終業式で、『一粒の米』のお話をしました。（抜粋）

むかし、江戸時代に新井白石というえらい学者がいました。徳川の將軍様に仕えて、大きな仕事をした人です。でも最初からえらかったわけではありません。子供のころは、勉強が好きではなく、朝から晩まで友達と遊びまわっていたそうです。それを見たお父さんは、白石にこんな話をしました。

「米びつから一粒の米を取っても、お米が減ったかどうかは分からない。けれども、1年、2年、3年と、毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことが分かる。反対に米びつに一粒の米を入れても増えたかどうかは分からない。けれども、1年、2年、3年と、毎日一粒ずつ入れていくと、増えたことが分かる。勉強や習い事も同じだ。1日だけ勉強したり練習したりしても、すぐにかしこくなったり、上手になったりすることはない。反対に、1日怠けたからといって、次の日に、すぐに分からなかったり、下手になったりするわけではない。

けれども毎日、毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、1年後や2年後には、勉強が分かるようになっていたり、習い事が上手になったりしたことも分かる。毎日怠けていると、気が付いたときには勉強も分からなくなり、習い事も下手になってしまっているものだ。」

これを聞いた新井白石は、一粒の米を机の上にお守りとしていつも置いておき、怠けようという心が起きたとき、その米粒を見て自分を励ましたそうです。

明日から楽しい夏休みです。この時期にしかできないことにじっくりと取り組んでほしいと思います。勉強や運動の毎日の積み重ねを大切に、自分なりに工夫し、真心こめて、真剣にがんばりましょう。本を読む、家の手伝いを決めて継続する、朝起きる時間を決めて規則正しい生活を続けるのもいいですね。くじけそうなときは、一粒の米の話思い出してください。心の米びつをいっぱいにして、笑顔あふれる2学期のスタートが切れることを願っています。



「ばくろう思い出館」開館のお知らせ

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1 開館日 | 令和6年8月14日（水） |
| 2 開館時間 | 午前9時30分～午後4時 |
| 3 内容 | 明治から、大正、昭和、平成、令和の作品展示 |
| 4 備考 | 体育館下のばくろう思い出館出入口をご利用ください。 |

～各自治会で「開館のお知らせ」を回覧中です。ぜひご覧ください。～

パリ五輪開幕！



7月26日から、パリで夏季オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックには、次の3つの価値があるといわれています。

- ◆卓越(Excellence)…ベストを尽くすこと。大切なのは、目標に向かって全力で取り組むこと。
- ◆友情(Friendship)…スポーツでの喜びやチームスピリット、対戦相手との交流。それは人と人とを結び付け、互いの理解を深める。
- ◆敬意(Respect) …互いに敬意を払い、ルールを尊重すること。それはフェアプレー精神をはぐくむ。

あまり耳にしない国の選手がいれば、その国がどこにあるのか地図帳を広げて調べたり、知らなかった競技があれば、ルール等を検索したりなど、興味や好奇心をどんどん広げてほしいと思います。そして、人種や国境を越え、アスリートたちが互いにベストを尽くして勝負する姿を心に焼き付けてほしいと思います。ただ、パリとの時差は7時間！夜中や早朝の競技もあるので無理は禁物ですが・・・。

家族で確認しませんか ～8/25 博労地区総合防災訓練～



8月25日(日)、博労地区総合防災訓練が行われます。博労地区では12年ぶりの実施だそうです。去る7月7日(日)には、博労小学校の体育館で図上訓練が行われました。自治会ごとに白地図を広げ、危険箇所、避難経路、一時避難場所等を書き込んでおられました。25日当日は、9時の地震発生から一時避難場所への避難、そこから博労小学校への避難となります。だれ一人命を落とさないための本気の訓練です。子供たちにも、自分にできることを考えて行動に移せるよう、いざというときのために訓練に参加してほしいと思っています。



博労っ子日記「たいさんぼく」



【6月23日】創校記念式、ふるさと学習



6月25日は博労小学校の創校記念日です。毎年、全校児童が体育館に集って学校の誕生日をお祝いします。

6年生は、ばくろう思い出館の松本一郎館長さん、広島大学大学院准教授の蜂谷昌之先生を毎年講師に迎え、学校の歴史について学んでいます。



【6月29日】6年 親子活動 ～はじめての寄付体験～



「1グループにもし3,000円あったらどこに寄付するか」自分たちの寄付金で暮らしや社会を変えられるかもしれない！

子供たちが真剣に考える姿に頼もしさを感じました。ファンドレーターという職業についても知ることができ、大変有意義な時間になりました。

【7月10日】3～6年 インターネット安全教室



パソコンやスマートフォン等、インターネットは私たちの生活には欠かせなくなっています。全く切り離すのではなく、正しい利用の仕方について考えていくことが必要です。とはいえ、子供たちだけで考えていくことは難しいので、大人が適切な手助けをしていかなければなりません。この日は、講師をお招きし、ネット被害の実例から情報モラルやネット活用の在り方について考えました。

